


環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 23年 3月 29日

妥当性確認結果の概要報告書

妥当性確認の審査結果ならびにパブリックコメントの概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名						
日東薬品工業株式会社 長田野工場における高効率空調機、及びポンプ・ファンのインバーター化による温室効果ガス削減事業 (エコ活動による地球の健康改善プロジェクト)						
GHG 妥当性確認機関						
当該プロジェクトにおける妥当性確認を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。						
機関名	ビューローベリタスジャパン株式会社					
担当部署名	システム認証事業本部 テクニカル部					
責任者名	坂口 正敏					
責任者 E-mail	masatoshi.sakaguchi @jp.bureauveritas.com					
責任者電話番号	045-641-6024					
審査員名 ¹	門田 俊輔					
機関要件への合致	妥当性確認機関としての要件を満たし、妥当性確認機関としての登録を受けています。					
妥当性確認報告書発行日	平成 23 年 3 月 29 日					
審査内容						
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセットクレジット制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver1.2					
妥当性確認期間	平成 23 年 2 月 28 日～平成 23 年 3 月 29 日					
現地審査	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	期間	平成 23 年 3 月 15 日～平成 23 年 3 月 15 日			
	審査内容	プロジェクト事業者が作成したプロジェクト計画書に記載された情報が、その作成基準である実施規則、ポジティブリスト、適格性基準、方法論、モニタリング方法ガイドラインに準拠しているかどうかを確かめるために、関連する証拠を客観的に収集・評価し、その結果を表明する。				
想定排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2				47	47

プロジェクト情報 (A・B)	プロジェクト計画書及び添付資料の文書審査、関係者へのインタビュー、現地審査を通じ、記載内容について確認を行った。いくつか修正すべき点が発見されたが適宜修正が行われた結果、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則に依拠して作成されていることを確認した。
適格性要件(C)	プロジェクト計画書及び添付資料の文書審査、関係者へのインタビュー、現地審査を通じ、記載内容について確認を行った。いくつか修正すべき点が発見されたが適宜修正が行われた結果、実施規則及びポジティブリスト(SS-E017、SS-E019)において要求される適格性要求を全て満たしていることを確認した。
排出量・吸収量算定 (I・II)	モニタリング計画書及び添付資料の文書審査、関係者へのインタビュー、現地審査を通じ、排出量算定式及び算定結果について確認を行った。いくつか修正すべき点が発見されたが適宜修正が行われた結果、モニタリング方法ガイドライン、方法論(JEAM SS-017、JEAM SS-019)に準拠しており、重要性の観点から適切に算定されていることを確認した。
モニタリング計画 (III～VI)	モニタリング計画書及び添付資料の文書審査、関係者へのインタビュー、現地審査を通じ、記載内容について確認を行った。いくつか修正すべき点が発見されたが適宜修正が行われた結果、モニタリング方法ガイドライン、方法論(JEAM SS-017、JEAM SS-019)に準拠していることを確認した。
その他(D)	プロジェクト計画書及び添付資料の文書審査、関係者へのインタビュー、現地審査を通じ、関連許認可及び関連法令等の遵守状況等について確認を行った。その結果、モニタリング方法ガイドライン、方法論(JEAM SS-017、JEAM SS-019)に依拠し、重要性の観点から適正に記載されていることを確認した。
機関の見解 (サマリー・結論)	プロジェクト計画書及び添付資料に記載されたプロジェクトが、オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則、モニタリング方法ガイドライン、ポジティブリストの適格性基準、方法論に依拠しており、本制度における重要性の量的基準値として、排出削減量の 5%以内という水準を確保していることを確認した。 以上より、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット(J-VER)認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。
パブリックコメントの概要	
パブリックコメントの募集期間 平成23年3月2日から3月15日	
コメント 受け付けられたコメントは無し	
妥当性確認機関の見解 該当なし	

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。